

徳島県立二十一世紀館協議会 会議録

1 日 時 平成28年9月16日(金) 10:00 ～ 11:40

2 場 所 二十一世紀館会議室

3 出席者

【委 員】 10名中8名出席

小島 信子委員(会長), 光原 弘幸委員(副会長), 上島 秀幸委員,
郡 美都委員, 高橋 直介委員, 筒井 義典委員,
中山 昌子委員, 吉澤 貢委員

【二十一世紀館】

館長ほか, 館員7名

4 会議次第

(1) 開 会

(2) 二十一世紀事務局挨拶

(3) 議 題

- ①平成27年度事業実績について
- ②平成28年度事業計画について
- ③野外劇場の屋根設置について
- ④その他

(4) 閉 会

5 会議概要

	① 議題1・議題2:平成27年度事業実績と平成28年度事業計画
委 員	情報ボランティア養成講座の講座内容を見直す予定はあるのか？
事務局	講師とも協議しているが、現在の講座への希望者も多いため、今年度は前年度と同じにした。
委 員	時代に合わせて講座の内容を見直していくことも必要。 3～5年後といった長いスパンではどうか？
事務局	毎年、講座内容については講師と協議を行っている。その過程で今後、ニーズに合わせた新たな講座も考えていきたい。
委 員	今年度からデジカメ講座を基礎と応用に分ける変更を行った？
事務局	昨年度と変わっていない。
委 員	情報ボランティア講座は希望者全員が受講できるのか？
事務局	定員がある。毎回、定員を超える希望者があり、抽選の結果、受講できない人もいる。
委 員	毎年度、受講することも可能なのか？
事務局	受講申し込みの拒否はしていないので可能と思われる。
委 員	アンケートの結果を見ると、シニア層の来場が多い。シニア層向けのイベントを何か行っているのか？
事務局	年間を通じて言えるが、時間的に利用できる年代がシニアに寄っている傾向はある。事業実績・計画を見てもシニア層に絞っていないと思う。
委 員	アンケート結果を見ても若者(20代)の割合が低い。大学生を中心にアプローチしていくとしたら、どういったことが考えられるか？
事務局	過去の協議会でも副会長から同旨の提案が出ていたことを受けて、平成27年度はマチアソビとのコラボを行い、高校・大学生で賑わった。 今年度の21世紀館主催事業では子ども中心に来てもらえるものを企画、子どもの

	日フェスタや恐竜展の映画会では子ども連れの若い親世代の来場も多かったように思う。今後は、土曜映画会の上映作品で若い人向けのものを入れたり、県関係の大きな企画で若年層を取り込めるものと連携することも考えたい。
事務局	県民からの要望もあり、今年度、夏休み期間の学習室の開放を初めて試行的に実施した。10代・20代の若い人が夏休みに多く来てくれた。 年配者は時間も多く利用も多いが、若い人にも来てもらえるものを考えていきたい。
委 員	20歳前後の学生にどのように広報していくかは難しい課題。良い企画を考え、チラシを配布しても知ってもらえないことも多い。何か工夫が必要。
	② 議題3: 野外劇場の屋根の設置
委 員	天候に左右されないことで野外劇場の利便性は上がる。イメージとしては客席の周囲に柱を立てて、ワイヤーでテントを張るイメージか？
事務局	現在、設計協議中。野外劇場のイメージに合うものを考えているが、基本的には劇場の外周に柱。柱の上に屋根という構造である。
委 員	エントランスやホワイエの設置は？
事務局	現状の野外劇場がどこからでも入れる構造のため、屋根がついても大きく変わることはない。このためエントランスやホワイエの設置はない。
委 員	ステージはあるが、フロアも使って公演できるようにして欲しい。
委 員	昨年度の事業実績と今年度の事業計画を見比べても野外劇場の使用方法にあまり変化はないと思う。せっかく屋根がつくので人を集められる新しい企画を考えているのか？
事務局	音響面では期待できない部分もあるが、単に屋根をつけるだけでなく、今よりも用途の幅を広げ、劇場としての利便性を向上させるように設計していく予定。併せて、今よりも幅広い用途で使えるような利用計画も検討していきたい。
委 員	文化の森に来る人の多くは自家用車が主な移動手段と思われる。野外劇場の使用が増え、千人規模のイベントが増えた場合に備えたアクセス方法の拡充は検討しているのか？
事務局	アクセス方法の充実は必要と考えている。バス事業者に本数の増加を要望するな

	どの取り組みも行っている。今年から文化の森駅近くにバス停が新設されたり、文化の森に停まるバスの本数も増えるなど改善も見られる。
委 員	イベント開催時の臨時バスの検討は？
事務局	今後、検討していきたい。
委 員	駐車場は最大で何台まで駐車できるのか？
事務局	駐車場だけなら500台くらい。満車になった場合は河川敷への誘導や周辺の小学校の校庭を臨時駐車場として借り上げるなどの対策は取る。
委 員	円形劇場に屋根をかぶせるので、雨水が劇場の周囲に流れたり、劇場内で音が反響したりといった懸念は？
事務局	野外劇場の屋根の設計については前年度にも多くの意見をいただいた。 屋根だけつけて利便性が上がるという話でもない。現状、野外劇場はイベントホールとの併用が前提になっているので、それを解消できる方向で、利用者が使いやすいものになるよう意見を設計の担当者には伝えていく。この場に限らず気付いた点があれば提案して欲しい。
委 員	音響面の機能で言えば、クラシックなど繊細な音が求められるものは合わないが、ロックコンサートには合うと思われる。ただ、その場合にどの程度まで音量を出せるのが心配。クレームは来ないか？
事務局	昨年度の実績で言えば、2回ほどポップスのコンサートを行い、そのうち1回はロックコンサートだった。昼過ぎから夜まで5時間ほど行ったが、近所からのクレームは無し。強いて言えば図書館が近いため、図書館の利用者への配慮が必要なことくらい。
委 員	開催者への禁止事項はあるのか？
事務局	特になし。住宅が近くにないので、これまでも問題にならなかったもよう。
委 員	トイレを改修する際には、オストメイトの設置など誰もが使いやすいものになるよう配慮して欲しい。
委 員	屋根がつくことで冬場も少し使いやすくなるのか？
事務局	野外劇場の良さを考えると、周囲を完全に囲ってしまう構造にはできない。 北側が開放されていて風が吹き込んでくるので、植栽を増やしてみるなど設計段

	階から何らかの風対策は考えていきたい。
委 員	新しい劇場の使い方として、コンサートや演劇などに限らず、例えば、屋外での鍋パーティーやバーベキューなど、今までにない使い方もできる多目的なものにできれば良いと思う。
事務局	事務局としてもいろいろと考えていきたいが、委員の皆さんからも何か良いアイデアがあれば、ご提案をいただきたい。
	③ 議題4:その他(自由意見)
委 員	もう3年くらい言っているが、SNSの活用についてどう考えているか？
事務局	現状では、博物館や美術館の展示にQRコードを設置。スマホにより四カ国語で解説を見られるシステムを導入したほか、館内に無料で使えるWi-fi設備も設置。 徐々にではあるが時代に合わせて対応している。 内部のWGでは紙媒体に加えてモバイル媒体での広報を行っていくことも進めたいとの意見も出ているが、具体的にはこれからと考えている。
委 員	思い切って砕けたキャラクターで情報発信してみるのも手である。 多忙だからと思うが、Twitterの更新も少ないのでフォロワーになっても拡散できない。ちょっとした工夫からでも拡散できる方法を検討してほしい。
委 員	21世紀館の名前にふさわしい情報発信の仕方をしてみてはどうか？
委 員	来館者数が平成26年度から平成27年度にかけて増えている理由は？
事務局	昨年度は25周年記念で美術館の大きな展覧会があったり、マチアソビとコラボした企画があったからと思われる。
委 員	魅力的なコンテンツがあればリピーターも増える。若い人が来やすい企画をぜひ考えて欲しい。
委 員	近所に住んでいて昔から文化の森によく来ていたが、今日、初めて建物からカスケードに出られることを知った。施設や園路のつながりで割と知られていないことも多いと思う。散歩コースとしても魅力的なので分かりやすい掲示を行うなど情報発信を工夫してみてはどうか？
事務局	現地を確認の上、その可能性を探ってみたい。